

① 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

ぼくら日本人はだいていは外国語が苦手だ。外国語と聞いただけでもうダメだという日本人がなんと多いことか。ぼくは大学で二十八年間外国語の教師をしてきたから知っているが、学生の最もいやがるのが外国語の時間で、なかには中学・高校とやってきたのに、英語の初歩さえ知らないような学生がたぐきんいた。これは長いあいだつづいた鎖国の後⑨「症」がいまだにづいていっているせいかもしれない。だが、鎖国状態というのは（スターリン時代のソグイエトも「鉄のカーテン」と呼ばれたくらい、政治・文化すべてにわたって鎖国状態だった）、よくない。⑩それでは己れを知ることができない。

日本の外国語教育は英語と決まっているが、これもあまりよいとは思えない。アメリカ人には英語（米語）なら世界中どこへ行っても通じると信じこんでいる連中が多いようで、これがかれらの外国語（その土地の言葉）を知ろうと努力しない理由になっているらしいが、これはとんだ傲慢というものだ。

言葉による支配がどんなに政治的支配と密接に結びついているかは、複数言語圏を見ればすぐわかる。スペインにはバスク語という特別な言葉だけを使う地方があつて、かれらは頑としてスペイン語支配を拒み、それが同時に政治的独立運動ともからんでいる。イタリヤの南チロル地方はドイツ語圏で、そのことに誇りをもっているが、イタリヤ語を公共語にされたことに反抗し、独立運動の動きさえあつて、いまでも問題が絶えない。

言葉は生活・文化と密接し、それを認めないことはその文化圏の人びとの生を否定することなのだ。その問題については米国人ダグラス・ラミスの『イデオロギーとしての英会話』（晶文社刊）があるから、読むといい。彼は自分の体験からこう言っている。

「アメリカ人は自分の国を『普遍的』だとして、他の国を、とくにアジアや第三世界を『特殊的』とみなす。日本の生活は日本のものであり、フイリッピンの生活はフイリッピンのものであり、ベトナムの生活はベトナムのものであるけれども、⑪アメリカの生活は、生活そのものである。それは単に具体的に生活であるだけでなく、生活という理念、この世で可能なかぎり普遍的理性の原理に近い生活なのである。たいていのアメリカ人は、自分の国で行われている生活様式こそ、世界の人びとが、もしその生活について知識を持ち、選択の自由を与えられれば、必ずそれを選ぶだろう」という根強い信念を持っている」

多くのアメリカ人にこういう誇りと傲りと⑫夜郎自大があることを、ぼくは自分の体験からも感じている。しかし何という無邪気な傲慢だろう。

だがラミスは、彼の外国語学校で教えた経験から日本人にもそれがあると言う。英語を話す外国人には、インド人、フイリッピン人もいるわけけれども、外国語学校で「native speaker」というのは「白人」だけであり、第三世界の人びとのことではないのだ。⑬白人以外の英語教師がいても日本人学生が近づくとくのは「白人」ばかりである。だからラミスは「英会話の世界は人種差別である」とまで言いきっている。

日本人の「白人」崇拜（？）は、裏返せばそれ以外の地球人への蔑視と結びついている。現に東南アジアに進出した日本の商社マンの、現地人に対する態度の傲慢さや、団体旅行者の⑭「へ」廉恥な行為は、君も知っているようにいろいろなところで指摘されている。ぼくもインドに行っている商社員たちが召使いを七、八人も使つて王⑮ゴラ貴族のような生活をしているのを見た。（インドの貧困とカースト制から、そうせざるをえない向きもあるそうだが）

アメリカ人が自分の国の生活を「これぞ生活」と思うと同じように、いまの日本人は日本での「文明生活」を生活とみなし、その規準で第三世界を「劣った国」とみているのだ。

アメリカナイズされた快適な文明生活という視点からぬけられなければ、たしかに東南アジアの生活は、不便で非快適でもあろう。だが、そのわれわれの文明の快適、便利、衛生が、いかにぼくらを縛り、弱くし、ぼくらを文明の奴隷にしているかを、ぼくはすでに見てきた。

視点を文明でなく、人間の心を養う文化という面にうつせば、アジアはまったく違った相貌を見せる。固有の宗教に培われた生活の姿は、⑯「ぼくら」が見失つた永遠性とじかにづながつた心のあり方をもつて、⑰「ぼくら」の軽」ハ」を恥じ入らせる。⑱人間を人材「live and work」とみなすような文明より、人を宇宙の中の一生物とみなす文化のほうか、どんなに高尚であるかしない。

そして、そういう他者を鏡として映つた顔が、現在のぼくらの顔なのだ。物のゆたかさは必ずしも魂の豊かさ

①とは直結しないこと、むしろ物の所有欲にとらわれればとらわれるほど魂は歪み、瘦せることをそれは教える。

②は「いつからいつかを見ること」によって、日本の現在が逆にはつきりと見えてくるのだ。

中野孝次「自分らしく生きる」による

*live-ware 人的資源

問一 傍線部⑨のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで

記号で答えよ。

解答番号①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①委 ②畏 ③遺 ④慰 ⑤破 ⑥覇 ⑦派 ⑧反 ⑨抗 ⑩候 ⑪坑 ⑫候 ⑬拍 ⑭博 ⑮箔 ⑯薄

問一 傍線部①の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。
①鎖国状態では外国の存在というものを全く知らないで自分の国の生活が世界のすべてと思っている。
②鎖国状態では外国からの視点や外国との比較検討がないので、自国の政治・文化が妥当か判別できない。
③鎖国状態では外国を政権によって知らされていないので国民は地球が丸いことも知らないで生きている。
④鎖国状態では政権への批判は厳しく処罰されるので政府にどんなに不満があってもじっと我慢している。

問二 傍線部②の理由として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

①以前は大英帝国が植民地主義によって世界中を植民地にして富を本国に集めていたが、その名残が今も続いているから。
②日本の外国語教育は戦後アメリカの占領軍によって強制されたものであり、日本人の精神的な自由を奪われているから。

③中学校に入學すると何の疑問も抱かずに英語を勉強するものと思ひ込んでいるのはアメリカに対する劣等感が土台にあるから。
④一だけの外国語を強制すると、一つの生活・文化しか知らないことになり、生活・文化の多様性を知らないことになるから。

問四 傍線部③の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

①アメリカの先住民の文化や黒人の音楽などは人々の生活そのものから発生した。
②アメリカ以外の国ではその国の理想的な生活と現実が遊離してしまっている。
③アメリカ人はアジアの人々の生活や宗教を最も貴重なものとして尊重する。
④アメリカの生活は、すべての人類が到達するべき普遍的で理想的な生活だ。

問五 傍線部④の意味として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

①内容が乏しいのにオーバーな表現をすること。
②自分の力量も知らずに偉そうな態度をとること。
③とってつけたような嘘を言ってごまかすこと。
④ありもしない話をでっち上げて人を陥れること。

問六 傍線部⑤の理由として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

①日本人の心の底に白人を尊び、白人以外の人々を蔑視する意識があるから。
②日本人の心の底にはアングロサクソンに対する強い劣等感があるから。
③日本人は心の底では日本が経済的に豊かであることを誇りに思っているから。
④日本人の心の底には日本人こそがアジアの盟主であるという意識があるから。

問七 傍線部⑥の説明として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

①人間の生活がその基盤を自然に根ざしたり、生活の中に深い信仰があつたりする第三世界。
②日本人の生活の快適さ、便利さ、衛生管理などを全く知らずに生活している人々の社会。
③人間を経済的な効率や生産性の視点でとらえ、どれだけの価値があるか計る文明社会。
④いつの間にかアメリカナイズされて経済的な豊かさが心の豊かさだと思っている日本人社会。

解答番号⑩

解答番号⑨

解答番号⑧

解答番号⑦

解答番号⑥

解答番号⑤

問 八 傍線部⑦の具体的な内容として適当なもの^①、^②、^③、^④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号 11

① 経済的に豊かで便利で衛生的な生活をしているアメリカ人から、経済も言葉も音楽も何でもアメリカのまねをしてすっかりアメリカナイズされた日本を見る。

② 経済的に豊かで便利で衛生的な生活をしているアメリカ人から、自然とともに生活し敬虔な信仰心を持ち、欧米的な経済の基準では貧困な生活をしている人々を見る。

③ 人間も大自然の一部とみなし、固有の宗教を持って心を養うような生活をしている人々から、裕福を追求し、便利で衛生的なアメリカのような生活をしている日本人を見る。

④ 欧米的な経済の豊かさはないものの、心豊かに穏やかな生活をしている第三世界の人々から、豊かな経済生活をする一方で麻薬や銃による犯罪に苦しむアメリカを見る。

二 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

「お前は①口に毒がある」

つまらないところが親に似たものだ、と死んだ父はよく苦笑していた。

私が三つか四つの頃である。

父は私を連れて上司の家へ年始に行ったが、そこで「馳走になりながら、こう言ったそうな。

「お父さん、どうしてこのうちには掛軸がないの？」

今でこそダイニング・キッチンは当り前だが、戦前の客間には必ず床の間がついており掛軸が下がっていた。

子供心に不思議に思ったのだろうが、父は上役の手前、大いに②閉口したらしく、帰宅するなり、

「もう邦子は連れてゆかないぞ」

と母に八つ当たりしたという。

③三つ子の魂何とやらというが、私のこういう癖は、いまだに直っていない。

大分前のことだが、クリスマス・イブに四、五人の友人とパーティーのはしごをしたことがある。三角の帽子をかぶりタクシーに乗り込んで前のパーティーの席で④野暮な真似をした人物の悪口になった。

「結局、彼は田舎ッペなのよ」

私が言うど、酒の勢いも手伝って、一同そうだそうだということになり、調子づいて「田舎ッペ」にひとときり花が咲いた。

悪気はないのだが、東京人というのは、こういう時、実に思いやりのない言い方をする。その人物の地方訛^{なまり}を真似たり、⑤リチ儀な言動をからかったりした。

いきなり車が急停車した。

「田舎ッペのどこが悪いんだよー」

ふり向いた若い運転手の地方訛に私達はハッとした。

「黙ってりやい気になりやがって。日本の国はな、田舎ッペで持っているんだぞ」

怒りと興奮で語尾がふるえていた。私達は口々に謝って、あわてて車を下りたが、運転手はひどく腹を立てているらしく、車から下りてなおも食い下がっている気配である。

「かごに乗る人がつぐ人」ではないが、クリスマス・イブだというのに一人は働き、同じ年頃の男女は、三角帽子のほろ酔いで、調子づいて「田舎ッペ」などどふざけ散らしている。たしかに腹も立ったろうが、下りて次の車を探している私達を追いかけて、のしる様子は只事ではない。

騒ぎになってお巡りさんなど呼ばれては面倒と、酔いも手伝って、私達は夜道を逃げ出したのだが、運転手は何か叫びながら追ってくる。結局、追いつかれて判ったのだが、私達は、びっくりした余り、料金を払うのを忘れてしまったのだ。最後は全員並んで最⑥クイレをして勘弁してもらったのだが、タクシーの料金を払わずに下りるとは、こちらの方がよほど田舎ッペである。

これも、三、四人の、私以外は全部男性だったが、何かの話の途中で、一人が、高校卒の自分の学歴を⑦比下した発言をした。私は慰めるつもりで、

「学歴がなによ。東大出たって⑧ウダツが上がる人はい人はいはたくさんいるじゃないの」

言いながら、私は何かマズイぞーと感じていたが、言葉のほうからとびだしていた。案の定、端にいた一人が、ボソツと言った。

「その見本がここにいるよ」

Aを慰めるためにBを傷つけてしまう。私はよくこういつた失敗をする。

原因は簡単で、つまりは不注意と思いやりに欠けているのである。そのたびに人を傷つけ、自分も自己嫌^①オ

と後悔で傷ついてきた。

しかし、こうやって、失言と気づき、今の一言で相手を傷つけてしまった、と気づく時はまだ救われる。

反省もするし、傷つけた相手に謝罪の方法もある。

一番いけないのは、自分でそれと気づかず、相手も、グサリと刺されたことに気づきも見せずにいる場合である。言葉で人を傷つけてしまう人間というのは、^②ガイして自惚れの強い人間が多いので、^④得てして相手の痛みに気づかぬことが多いのではないだろうか。それを思うと、嫌になってくる。

^⑤言葉は怖い。

たとえばようもなくやさしい気持を伝えることの出来るのも言葉だが、相手の急所をグサリと刺して生涯許せないと思わせる致命傷を与えるのも、また言葉である。

四十を越して、人の心の痛みも判る年頃になったのだから、少しは気をつけて物を言おうと思いつたから、相変らず言葉でしくじりを繰り返している。思う通りに物を言って、人を傷つけずに済むようになるのは、一体いつの日のことだろうか。

向田邦子「夜中の薔薇」による

問一 傍線部^㉑のカタカナを漢字に改めたものとして適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで

記号で答えよ。

解答番号^㉑^㉒^㉓^㉔^㉕^㉖^㉗^㉘^㉙^㉚^㉛^㉜^㉝^㉞^㉟^㊱^㊲^㊳^㊴^㊵^㊶^㊷^㊸^㊹^㊺^㊻^㊼^㊽^㊾^㊿

①雄 ②率 ③栗 ④慄 ⑤啓 ⑥敬 ⑦契 ⑧慶 ⑨疲 ⑩火 ⑪費 ⑫卑

問一 傍線部①の内容として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号^①^②^③^④^⑤^⑥^⑦^⑧^⑨^⑩^⑪^⑫^⑬^⑭^⑮^⑯^⑰^⑱^⑲^⑳^㉑^㉒^㉓^㉔^㉕^㉖^㉗^㉘^㉙^㉚^㉛^㉜^㉝^㉞^㉟^㊱^㊲^㊳^㊴^㊵^㊶^㊷^㊸^㊹^㊺^㊻^㊼^㊽^㊾^㊿

①心と言葉が裏腹だ。

②言葉で人を傷つける。

③言葉に悪意がある。

④常識のない言葉を言う。

問二 傍線部^㉑～^㉕の意味として適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号^㉑^㉒^㉓^㉔^㉕^㉖^㉗^㉘^㉙^㉚^㉛^㉜^㉝^㉞^㉟^㊱^㊲^㊳^㊴^㊵^㊶^㊷^㊸^㊹^㊺^㊻^㊼^㊽^㊾^㊿

㉑①手に負えなかった

㉒①まだ聞いたこともない

㉓①上役に取り入るのが下手な人

㉔③なかなか自分の番が回ってこない人

㉕④地位や生活がもっとも向上しない人

問四 傍線部②、③の意味として適当なものをそれぞれ次の①～⑧の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号^②^③^④^⑤^⑥^⑦^⑧^⑨^⑩^⑪^⑫^⑬^⑭^⑮^⑯^⑰^⑱^⑲^⑳^㉑^㉒^㉓^㉔^㉕^㉖^㉗^㉘^㉙^㉚^㉛^㉜^㉝^㉞^㉟^㊱^㊲^㊳^㊴^㊵^㊶^㊷^㊸^㊹^㊺^㊻^㊼^㊽^㊾^㊿

①幼い時身についた気質や性格は一生変わらない。

②世の中の様々な階級や職業の人が互いに助け合って社会が成立している。

③相手の弱みにつけ込んで力づくでいうことを聞かせようとする。

④強力な後ろ盾があることにして好き勝手なことをすること。

⑤世の中では立場の違いや社会的地位の違いは乗り越えることが困難である。

⑥兄弟姉妹の仲の良し悪しというのは死ぬまで変わらない。

⑦昨日は客だった人が今日は仕事を提供する立場になり、世の中はかわりばんこであること。

⑧覚悟を決めて相手のするがままになつておくよりほかに仕方がない立場に置かれること。

問五 傍線部④の使い方として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

解答番号^①^②^③^④^⑤^⑥^⑦^⑧^⑨^⑩^⑪^⑫^⑬^⑭^⑮^⑯^⑰^⑱^⑲^⑳^㉑^㉒^㉓^㉔^㉕^㉖^㉗^㉘^㉙^㉚^㉛^㉜^㉝^㉞^㉟^㊱^㊲^㊳^㊴^㊵^㊶^㊷^㊸^㊹^㊺^㊻^㊼^㊽^㊾^㊿

①大谷翔平選手の活躍は得てしてというしかないほど素晴らしい。

②サッカーで優勝したので得てして全校で祝賀会が催された。

③病氣も治ったことだし、得てして釣りにでも出かけようよ。

④若いときは得てして血気にはやっと思わぬ事故を起こしがちだ。

問六 傍線部⑤の恐ろしさの説明として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。

- ①東京人が地方出身者を馬鹿にした言葉遣いをするこの恐ろしさ。
②人を侮蔑するという悪意を抱いてスピーチをするこの恐ろしさ。
③自分の自覚しないところで人を傷つけている場合がある恐ろしさ。
④東京弁を標準語だと誤解して地方訛りの言葉を侮蔑する恐ろしさ。

三

A～Fの文の傍線部と同じ働きのものをそれぞれ後の①～④から選んで記号で答えよ。

解答番号 A [25] B [26] C [27] D [28] E [29] F [30]

A カズトムジに糸をつけて木の実を引かせる。

- ①午前三時に電話がかかってきた。
②壁にペンキを塗る。
③県の代表になって国体に出場した。
④駅の方に向かって走って行った。

B この薬はごく稀に副作用の出ることがあります。

①君の言葉は優しさに欠けるね。

②駅のホームに売店がある。

③図書館では静かに歩いてください。

④今日はあいつには会わずに帰ろう。

C 朝日で赤く染まった富士山

①猛練習でくたくただよ。

②毎日自転車で登校した。

③水面でマダロが跳ねたぞ。

④昔は僕たち四人でよく遊んだものだ。

D 「吾輩は猫である」

①二十歳で将棋の名人位を獲得した。

②食事が済んだのでお茶を飲むことにした。

③日が落ちても暑くて、みんなは縁側で涼んでいる。

④これが僕の本で、それが君の本だよ。

E クマゼミが庭の木に来て鳴いている。

①「我らが母校、みごと優勝だ」

②「誰と結婚しようがおれの知ったことじゃないぜ」

③「言いにくいことですが、あなたシヤツを裏返しに着てますよ」

④私が先に行って偵察してきます。

F 雪が降っては積りして三メートルにもなった。

①ゴミ集積場にカラスがやってきてはゴミ袋を破ってしまふ。

②一応話を聞いてはみるがあまり気乗りはしない。

③敵に基地のありかを知られては負け戦になる。

④急いで仕事をし損じるといふことわざもある、落ち着いてやろう。

解答番号 [24]

四

次のA～Gの四字熟語の意味として適当なものを選んて記号で答えよ。

- A 韋編三絶(いへんさんぜつ) B 乾坤一擲(けんこんいつてき) C 四面楚歌(しめんそか) D 同床異夢(どうしやういむ) E 付和雷同(ふわらいどう) F 不俱戴天(ふぐたいてん) G 荒唐無稽(こうとうむけい)
- 解答番号 A [31] B [32] C [33] D [34] E [35] F [36] G [37]

五

次のA～Gの慣用句の意味として適当なものをそれぞれ後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

- A いまにみている、いつか必ず鼻を明かしてやるから。
①恥をかかせてやる
②出し抜いてあつと言わせる
③恨みを晴らしてやる
④出世してやる
- B 彼は無口だがいつも腰が低く、仕事が丁寧なので信用されている。
①真面目な態度で
②へりくだった態度で
③朗らかな態度で
④穏やかな態度で
- C 終戦直後の混乱で口を糊するには人に言えないようなことでした。
①やつと生活していくためには
②仲間の秘密を漏らさないためには
③腹一杯食べさせるためには
④もうかる仕事を探すためには
- D 二人で戦場から命からがら脱出するうちに肝胆相照らす仲となった。
①互いに相手の欠点を非難し合う
②互いに不信感を増幅させ合う
③互いに心の底まで打ち明けて深く付き合う
④互いに相手の失敗をかばい合う
- E 言いたいことを言っただけで溜飲が下がった。
①不平・不満・恨みなどが解消した。
②相手から謝ってきた
③心拍数が落ち着いてきた
④相手に勝ったような気がした
- F 激しい販売合戦で一敗血にまみれ、結果として会社は倒産した。
①不運な巡り合わせで
②一生懸命働いて
③能力を発揮できずに
④再起不能なほど負けて
- G 記者たちの激しい質問に対してなんとかお茶を濁して会見を終わった。
①冷や汗をかきながら
②知恵を絞って必死で対応して
③いい加減にその場をこまかして
④頭を下げて我慢してもらって

六

次の表は明治時代の代表的な小説・評論・随想を記したものである。空欄A～Gに当てはまる著者として適当なものを後の①～⑨の中から選び記号で答えよ。

作品	(ジャンル)	著者
西洋道中膝栗毛	(小説)	仮名垣魯文
学問のすゝめ	(評論)	福沢諭吉

解答番号 A [45] B [46] C [47] D [48] E [49] F [50] G [51]

当世書生気質	(小説)	坪内逍遙
小説神髓	(評論)	坪内逍遙
浮雲	(小説)	二葉亭四迷
舞姫	(小説)	「A」
五重塔	(小説)	幸田露伴
内部生命論	(評論)	北村透谷
たけくらゐ	(小説)	「B」
金色夜叉	(小説)	「C」
武蔵野	(随想)	国木田独步
不如帰	(小説)	徳富蘆花
高野聖	(小説)	泉鏡花
病床六尺	(随想)	「D」
吾輩は猫である	(小説)	夏目漱石
野菊の墓	(小説)	伊藤左千夫
破戒	(小説)	「E」
蒲団	(小説)	田山花袋
何処へ	(小説)	正宗白鳥
ふらんす物語	(小説)	「F」
網走まで	(小説)	志賀直哉
刺青	(小説)	「G」
徳	(小説)	徳田秋声
善の研究	(評論)	西田幾多郎
①尾崎紅葉	②与謝野鉄幹	③島崎藤村
⑥森鷗外	⑦石川啄木	⑧樋口一葉
		⑨谷崎潤一郎
		④正岡子規
		⑤永井荷風